

09/10/02
700264327



(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

162162

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2002 年 9 月 12 日 (12.09.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/070443 A1

(51) 国際特許分類: C07C 37/20, 39/16, C07B 61/00

(21) 国際出願番号: PCT/JP02/01654

(22) 国際出願日: 2002 年 2 月 25 日 (25.02.2002)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2001-56471 2001 年 3 月 1 日 (01.03.2001) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 出光石油
化学株式会社 (IDEMITSU PETROCHEMICAL CO.,
LTD.) [JP/JP]; 〒130-0015 東京都 墨田区 横綱一丁目
6 番 1 号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 岩原 昌宏

(IWAHARA, Masahiro) [JP/JP]; 〒745-0843 山口県
徳山市 新宮町1番1号 Yamaguchi (JP). 猿渡 鉄也
(SARUWATARI, Tetsuya) [JP/JP]; 〒745-0843 山口県
徳山市 新宮町1番1号 Yamaguchi (JP).

(74) 代理人: 大谷 保, 外(OHTANI, Tamotsu et al.); 〒
105-0001 東京都 港区 虎ノ門3丁目8番27号 巴
町アネックス2号館4階 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (国内): BR, CN, ID, IN, KR, SG, US, ZA.

(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE,
DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される
各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: PROCESS FOR PRODUCING BISPHENOL A

(54) 発明の名称: ビスフェノール A の製造方法

(57) Abstract: A process for producing bisphenol A by condensing phenol with acetone with the aid of an acid-form ion-exchange resin catalyst partly modified with a sulfurized amine compound, wherein the modified acid-form ion-exchange resin is one having a degree of modification of 10 to 20 mol%, excluding 20 mol%, when the acetone has a methanol concentration lower than 250 wt. ppm and is one having a degree of modification of 20 to 65 mol% when the acetone has a methanol concentration of 250 to 8,000 wt. ppm. By the process, the catalytic activity is inhibited from being reduced by the methanol contained as an impurity in the acetone. Thus, bisphenol A can be produced at a high conversion.

(57) 要約:

含イオウアミン化合物で部分的に変性した酸型イオン交換樹脂触媒を用い、フェノールとアセトン縮合させてビスフェノール A を製造する方法において、変性酸型イオン交換樹脂として、アセトン中のメタノール濃度が 250 重量 ppm 未満の場合、変性率 10 モル%以上 20 モル%未満のものを、メタノール濃度が 250 ~ 8000 重量 ppm の場合、変性率 20 ~ 65 モル%のものをを用いる。この方法により、アセトン中の不純物であるメタノールによる触媒活性の低下を抑え、高い転化率でビスフェノール A を製造することができる。

WO 02/070443 A1



ACTION